

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
つまり…**子育てしやすい町にする**

■今年度の主な取り組み

出産・子育てしやすい環境を目指して

出産・育児への支援 医療や育児の不安を少しでも減らし、**妊娠から育児までのサポート**体制の充実を進めていきます。

安心子育て支援事業(出産祝金)
●第1子・第2子では5万円、第3子以降は30万円を支給します。 ⇒詳しくは…町民課 ☎22-3117

不妊治療費助成事業
●一般不妊治療は1年度あたり5万円を限度に通算5年、特定不妊治療は1回につき10万円を限度に通算6回、男性不妊治療は特定不妊治療と併せて申請する場合に限り5万円を上限に助成します。
⇒詳しくは…健康福祉課 ☎22-3115

母子保健事業
●妊婦・乳児一般健康診査の費用の助成、乳幼児健診、赤ちゃん相談(医師や保健師による育児相談、助産師による母乳相談)などを行います。
⇒詳しくは…健康福祉課 ☎22-3115

妊婦一般健康診査通院費助成事業
●町外の医療機関で妊婦健診を受診する際の通院費1回あたり5,000円(上限14回)を助成します。
⇒詳しくは…健康福祉課 ☎22-3115

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出生数	95人	81人	97人	86人

- 出生数:年間目標100人
5年間の目標500人(H27~H31まで)
- 合計特殊出生率:5年後に1.80を目指します
(H20~24平均値1.68)

子育て応援の充実 **仕事と子育ての両立**など、働きやすい職場環境づくりを目指し、子育て家庭の経済的負担感の軽減に取り組んでいきます。

乳幼児・児童医療費助成制度
●中学校卒業までの医療費の自己負担分を助成します。
⇒詳しくは…町民課 ☎22-3117

多子世帯保育料等軽減事業
●保育料が第2子は半額、第3子以降は無料となります。
⇒詳しくは…生涯学習課 ☎22-3576

放課後児童対策事業
●町内1か所で放課後児童クラブ、12か所で放課後子ども教室を開設し、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流などの取り組みを実施します。
⇒詳しくは…生涯学習課 ☎22-3576

安心して子育てできる環境を目指して

保育サービスの充実
ファミリーサポートセンター運営事業
●乳幼児や小学生などの児童を有する子育て中の保護者と、児童の預かりなどによる子育ての手助けをしたい人をつなぐことにより、地域の支えあいによる子育て環境の整備を進めます。

地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)
●育児相談や保健相談事業への支援、育児教室や講演会などを開催するほか、一時預かりや子育てサークルなどの育成支援、子育てに関する情報や交流の場の提供などを行います。
⇒詳しくは…生涯学習課 ☎22-3576

学校教育環境の充実
ICT教育推進事業
●未来を担う子ども達が、高度情報化社会に対応できる力を身に付けられるよう、発達段階に応じてICTに適切に触れながら情報活用能力を育成することが必要なことから、学校での学習を通してその育成を図り、ICT機器(タブレットPC、デジタル教科書など)の活用による教育の質の向上を目指します。
⇒詳しくは…学校教育課 ☎22-2594

定住環境の充実
若者定住促進支援事業
●40歳以下の若者が新たに住宅を新築または購入する際に最大100万円を補助します。
家族支え合い居住支援事業
●新たに二世帯以上で住宅を新築・購入・改築する際に最大100万円を補助します。
⇒詳しくは…建設課 ☎22-3120

来月号では、基本目標④ **安心して暮らせる町にするための取り組み**を紹介します。

本町では、人口減少克服と地方創生を目指して、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その中で4つの基本目標を掲げ、さまざまな取り組みを行っています。今年度は、この戦略の最後の取り組みの年でもあり、来年度からの新しい戦略を立てる年にもなります。4月号より、これまでの成果と今年度の主な取り組みについて紹介しています。今月号では、そのうち2つの基本目標とその取り組みについて、ご紹介します。

四万十町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標②

目標を大きく上回る!

2 四万十町へ新しい人の流れをつくる
つまり…**住む場所、集まる場所をつくる**

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
移住者数	26組45人	46組73人	125組190人	132組177人

- 移住者数(移住促進事業等の実績)
年間目標20組
5年間の目標200人(H27~H31まで)

この町に移り住む、住み続けることができる環境を目指して

移住定住促進事業(移住促進)
●移住相談対応や空家などの情報提供
●お試し滞在施設などの管理運営
●首都圏でのPR活動の実施(移住相談会など)
●Uターン増加を目指したプロモーション事業
●移住者などへの賃貸住宅家賃の助成などを行います。

移住定住促進用中間管理住宅促進事業
●活用できる空き家を町が借り上げ改修し、移住希望者などへの貸し出しを行います。今年度は5棟の住宅を整備予定です。

⇒詳しくは…にぎわい創出課 ☎22-3281

みんなに愛される「四万十川」を目指して

四万十川水産資源回復事業
●水産資源を将来に渡り守っていくための資源の底上げや、釣り客の増加を目的としたアユの種苗放流の実施、町内におけるアユの遡上や降下状況調査、漁場の整備などの内水面漁業の振興を行うことで、町内の活性化を目指します。

四万十川イメージ向上事業
●町外の人から求められている四万十川のイメージや実態を調査し、その結果を踏まえて町外向けのアピール手法に反映させるほか、調査結果をもとに四万十川の水辺での体験活動として求められていることや実施できる内容を検証し、流域全体の水辺に町民や観光客が訪れやすい環境を目指します。
⇒詳しくは…企画課四万十川対策室 ☎22-3124

この町の魅力・知名度の向上と交流人口の拡大を目指して

観光拠点施設整備事業
●平成31年2月に開幕した「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」にあわせ、「自然」と「体験」をキーワードに、興津青少年旅行村やネイチャーセンターなどの各種施設整備を進め、受入体制の充実を図り、交流人口の拡大や周遊促進を目指した取り組みを進めます。
⇒詳しくは…にぎわい創出課 ☎22-3281

広報戦略策定事業
●観光や産業振興・移住定住などの各分野において、効果的に四万十町をPRしていくため、この町の統一されたイメージの定着を目指します。
⇒詳しくは…企画課 ☎22-3124

地域ブランド調査2018による全国市区町村別魅力度ランキングにおいて、四万十町は、**四国内1位**(全国では62/1000位)となりました!

特集

町のいじりは自分のいじり。自分のいじりは町のいじり。

住む場所、集まる場所をつくる。
子育てしやすい町にするために

知ってた?